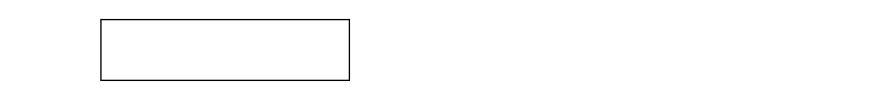
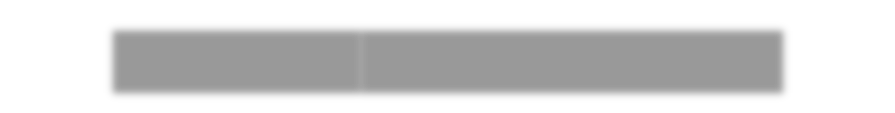
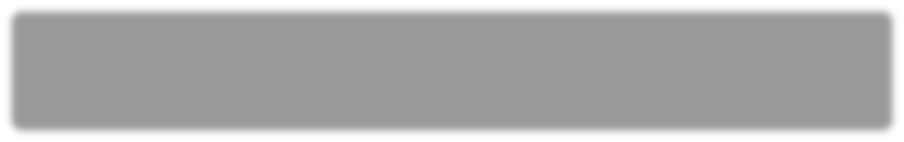
|  |
| --- |
| 別紙１ |



**事業**

**所**

**職員**

**向け**

**児童発達支援**

**自己評価表**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **チェック項目** | **はい** | **いいえ** | **工夫している点、課題や改善すべき点など** |
| 環境  ・    体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ |  | 人数に合わせて部屋を分ける等調整している。 |
| ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ |  | 人員基準に基づき配置を行う。 |
| ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか |  | ○ |  |
| ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | ○ |  | 日々、清掃を心掛け、大掃除の機会も設けている。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ |  | 療育終了後に振り返り、反省会を行い、改善に努めている。 |
| ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ |  | 保護者等向け評価表を配布し、得られた意向から、業務の改善を行っている。 |
| ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ |  | 評価表の結果を踏まえ職員会議を行い支援内容・改善に結び付け情報をまとめホームページに情報を公開する。 |
| ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ |  | 弟３者委員会を設置し業務改善に繋げる。 |
| ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ |  | 法人合同研修会。外部講師を招いての研修会  発達協会への研修参加。 |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか | ○ |  | ６ケ月に１回アセスメントを実施し個別支援計画を作成・見直しを行う。 |
| ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ |  |  |
| ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○ |  |  |
| ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | ○ |  | 月案・週案を職員全体で話し合い、個別・集団内において必要とされる支援を決定している。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ |  | 職員全体で話し合い、決定している。適宜、研修や勉強会で得た活動を取り入れている。 |
| ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ |  | 各専門職の観点を入れ子どものニーズに沿った療育が行えるようその都度会議を行う。 |
| ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか | ○ |  | 児童のニーズや状況に合わせて作成。 |
| ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ |  | ミーティングを行い療育内容の確認及び記録及び記録の見直しを行う。 |
| ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか | ○ |  | 療育終了後に職員間でふりかえりの時間を設け様子・内容・気づき等情報を共有し合う。 |
| ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ |  | １回の療育事に徹底して療育記録をとる。次回の療育に繋がるように工夫する。 |
| ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ |  | ６ケ月に１回見直しを行う。必要に応じてその都度面談を行い計画の見直し判断を行う。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ |  | ケース会議があれば管理者と児童発達支援管理者が出席し情報の共有を図る。 |
| ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | ○ |  | 臨床心理士に間に入って頂き、必要な児童には連携を取るようにしている。 |
| ㉓ | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害  のある子ども等を支援している場合）  地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | ○ |  | 地域の小学校、中学校との連携を図り定期的に学校連絡会を行っている。 |
| ㉔ | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害  のある子ども等を支援している場合）  子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか |  |  | 該当なし |
| ㉕ | *移行支援として、*保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか |  |  | 該当なし |
| ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | ○ |  | 必要に応じて就学前に検査を行ったり、就学時に学校へ提出するためのサポートブック作成の機会を設けている。 |
| ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ |  | 各種専門機関が主催する研修会に参加する。 |
| ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、  障害のない子どもと活動する機会があるか |  | ○ | 希望をされない保護者もいらっしゃるため、現時点では計画をしていない。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ㉙ | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか |  | ○ | 今後は参加できる機会を設けていく。 |
| ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ |  | 療育終了後に保護者へ療育内容や子どもの様子を伝える（振り返り） |
| ㉛ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っているか | ○ |  | 臨床心理士による法人合同でのペアレント・トレーニングを実施している。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉜ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ |  | 運営規定及び重要事項説明書に基づき利用者負担額等について説明。 |
| ㉝ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ |  | 個別支援計画書に基づき説明を行い署名・印をもらう。それを１部コピーし保護者さんにお渡しする。 |
| ㉞ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ |  | 面談の機会を設け保護者さんからの相談に適した対応をとっていく事とする。 |
| ㉟ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ |  | 先輩の保護者の体験談を講演して頂く機会を設け、保護者同士の連携が取りやすくなるよう支援している |
| ㊱ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ |  |  |
| ㊲ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ |  |  |
| ㊳ | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | ○ |  | 個人同意書に署名・印をもらい管理している。  書類持ち出し禁止など |
| ㊴ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ |  |  |
| ㊵ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか |  | ○ |  |
| 非常時等の対応 | ㊶ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | ○ |  | 職員や保護者には周知している。マニュアルを掲示し、意識を高めている。 |
| ㊷ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ |  | 定期的に災害を想定した話や対応について打ち合わせを行っている。また、児童に対して、活動の中で視覚支援を行っている。 |
| ㊸ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | ○ |  | 発達外来の際、医師、保護者等に確認を行い状況確認している。また療育がスタートしても面談等行い把握に努める。 |
|  | ㊹ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ |  | 指示書の提出はないが、保護者と密に連絡を取り合っている。保護者からアレルギーの有無を確認し記録しったうえで、職員間で情報の共有を図っている。 |
| ㊺ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ |  | 児童に対し、必要に応じて活動前に危険予知としてＳＳＴを行う。職員間で怪我・事故につながる可能性の事案について会議を行う。 |
| ㊻ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ |  |  |
| ㊼ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | ○ |  | 現在、身体拘束が必要となる場面はないが、事故や怪我の回避のためにどうしても必要な場面には保護者に十分な説明を行い安全確保の対応を行う。平素より職員間で個別の特性に応じた代替案を話し合い、子どもを身体拘束することなく、安全に有意義な活動ができるように取り組んでいる。 |

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。



**保護者等向け**

**児童発達支援評価表**

別紙２

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | ***チェック項目*** | ***はい*** | ***どちらともいえない*** | ***いいえ*** | ***わからない*** | ***ご意見*** |
| *環境・体制整備* | *①* | *子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか* |  |  |  |  |  |
| *②* | *職員の配置数や専門性は適切であるか* |  |  |  |  |  |
| *③* | *生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*i*になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や*  *情報伝達等への配慮が適切になされているか* |  |  |  |  |  |
| *④* | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境  になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか |  |  |  |  |  |
| *適切な支援の提供* | *⑤* | *子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*ii*が作成されているか* |  |  |  |  |  |
| *⑥* | *児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（*本人支援及び移行支援）*」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか* |  |  |  |  |  |
| *⑦* | *児童発達支援計画に沿った支援が行われているか* |  |  |  |  |  |
| *⑧* | *活動プログラム*iii*が固定化しないよう工夫されているか* |  |  |  |  |  |
| *⑨* | *保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか* |  |  |  |  |  |
| *保護者への説明等* | *⑩* | *運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか* |  |  |  |  |  |
| *⑪* | *児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか* |  |  |  |  |  |
| *⑫* | *保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*iv*等）が行われているか* |  |  |  |  |  |
| *⑬* | *日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか* |  |  |  |  |  |
| *⑭* | 定期的に、*保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか* |  |  |  |  |  |
|  | *⑮* | *父母の会の活動の支援や、保護者会等の*  *開催等により保護者同士の連携が支援されているか* |  |  |  |  |  |
| *⑯* | *子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか* |  |  |  |  |  |
| *⑰* | *子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか* |  |  |  |  |  |
| *⑱* | *定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか* |  |  |  |  |  |
|  | *⑲* | *個人情報の取扱いに十分注意されているか* |  |  |  |  |  |
| *非常時等の対応* | *⑳* | *緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか* |  |  |  |  |  |
| *㉑* | *非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか* |  |  |  |  |  |
| *満足度* | *㉒* | *子どもは通所を楽しみにしているか* |  |  |  |  |  |
| *㉓* | *事業所の支援に満足しているか* |  |  |  |  |  |

（注釈）

ⅰ 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ⅱ 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、

支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

ⅲ *「活動プログラム」は、*事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されていま。

ⅳ 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

（保護者等の皆様へ）

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | |  | | --- | | 別紙３ |   **事業所における**  **自己評価結果（公表）** |

公表：平成 年 月 日 事業所名

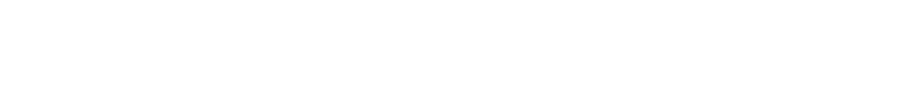
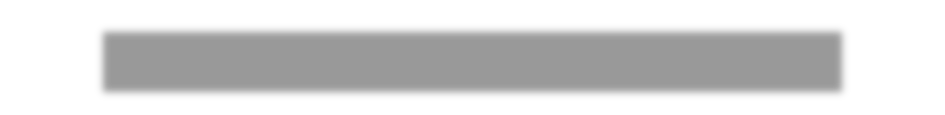
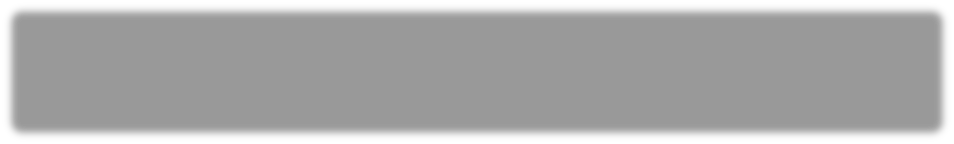
|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **チェック項目** | **はい** | **いいえ** | **工夫している点** | **課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標** |
| 環境  ・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である |  |  |  |  |
| ② | 職員の配置数は適切である |  |  |  |  |
| ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている |  |  |  |  |
| ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている |  |  |  |  |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している |  |  |  |  |
| ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている |  |  |  |  |
| ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している |  |  |  |  |
| ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている |  |  |  |  |
| ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している |  |  |  |  |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している |  |  |  |  |
| ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している |  |  |  |  |
| ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている |  |  |  |  |
| ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている |  |  |  |  |
| ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している |  |  |  |  |
| ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している |  |  |  |  |
| ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している |  |  |  |  |
| ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有している |  |  |  |  |
| ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている |  |  |  |  |
| ⑳ | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している |  |  |  |  |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している |  |  |  |  |
| ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている |  |  |  |  |
| ㉓ | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害  のある子ども等を支援している場合）  地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている |  |  |  |  |
| ㉔ | （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害  のある子ども等を支援している場合）  子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている |  |  |  |  |
| ㉕ | *移行支援として、*保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている |  |  |  |  |
| ㉖ | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている |  |  |  |  |
| ㉗ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている |  |  |  |  |
| ㉘ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ㉙ | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している |  |  |  |  |
| ㉚ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている |  |  |  |  |
| ㉛ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っている |  |  |  |  |
| 保護者への説明責任等 | ㉜ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている |  |  |  |  |
| ㉝ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている |  |  |  |  |
| ㉞ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている |  |  |  |  |
| ㉟ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している |  |  |  |  |
| ㊱ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している |  |  |  |  |
| ㊲ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している |  |  |  |  |
| ㊳ | 個人情報の取扱いに十分注意している |  |  |  |  |
| ㊴ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている |  |  |  |  |
| ㊵ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている |  |  |  |  |
| 非常時等の対応 | ㊶ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している |  |  |  |  |
| ㊷ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている |  |  |  |  |
| ㊸ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している |  |  |  |  |
|  | ㊹ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている |  |  |  |  |
| ㊺ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している |  |  |  |  |
| ㊻ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている |  |  |  |  |
| ㊼ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している |  |  |  |  |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

|  |
| --- |
| 別紙４ |



**保護者等からの事業所評価の集計結果**

**（公表）**

公表：平成 年 月 日

事業所名 保護者等数（児童数） 回収数 割合 ％

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **チェック項目** | **はい** | **どちらともいえない** | **いいえ** | **わからない** | **ご意見** | **ご意見を踏まえた対応** |
| 環境  ・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか |  |  |  |  |  |  |
| ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか |  |  |  |  |  |  |
| ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか |  |  |  |  |  |  |
| ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境  となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか |  |  |  |  |  |  |
| 適切な支援の提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか |  |  |  |  |  |  |
| 保護者への説明等 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか |  |  |  |  |  |  |
| ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか |  |  |  |  |  |  |
| ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか |  |  |  |  |  |  |
|  | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の  開催等により保護者同士の連携が支援されているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか |  |  |  |  |  |  |
| ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか |  |  |  |  |  |  |
| 非常時等の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか |  |  |  |  |  |  |
| ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか |  |  |  |  |  |  |
| 満足度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか |  |  |  |  |  |  |
| ㉓ | 事業所の支援に満足しているか |  |  |  |  |  |  |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。